

地下鉄子どもアート レポート

令和4年度ユースチャレンジ！コラボプロジェクト



学生団体ari



事業内容

解決したい課題

- ・路上や駅は毎日通勤通学で通る場所にも関わらず、気持ちが安らぎにくい環境
- ・子どもの家庭や学校以外の地域や地域の人との繋がりが希薄

事業目的

- ・アートによるケアとまちの活性化
- ・子どもの自己表現とその受容の場の創出

事業内容

事業協働先

仙台市交通局の皆さん

はまちひろ先生 美術家

オハヨウくつしたこども絵画造形教室講師

がんじー先生 似顔絵作家

事業内容

地下鉄仙台駅構内の壁面に子どもたちと共同制作した作品を展示する

- ・作品を制作するワークショップを3回開催
- ・展示の告知は各ワークショップにて行った
- ・事業効果測定としてアンケート調査を展示期間中に5日間行った
- ・子どもアートイベントの情報を発信するためのSNSアカウントの開設と
学生団体ariのHPの作成
→HPを今後の活動のアーカイブと告知用として利用し、そこで協賛金を募る

制作ワークショップ#1

青空縁日 2022年10月8日 10時～15時

開催場所 宮城野区中央市民センター

募集方法 青空縁日の広報、繋がりのある放課後等デイ
サービスや児童発達支援を行う方々への告知

来場者数 延べ100名以上

活動内容 作品の背景となる画用紙に自由に絵を描く

制作ワークショップ#1



制作ワークショップ#2,3

2022年11月～12月

開催場所 オハヨウくつしたこども絵画造形教室
アートフィールドくうか

参加者数 約30名

活動内容 背景の上に重ねる紙版画とダンボールを使った
作品を制作
作品のテーマは「仙台、宮城の好きなところ」
と「わたしの好きなもの」

制作ワークショップ#2,3

紙版画



制作ワークショップ#2,3

ダンボール
を型取り
色を塗る



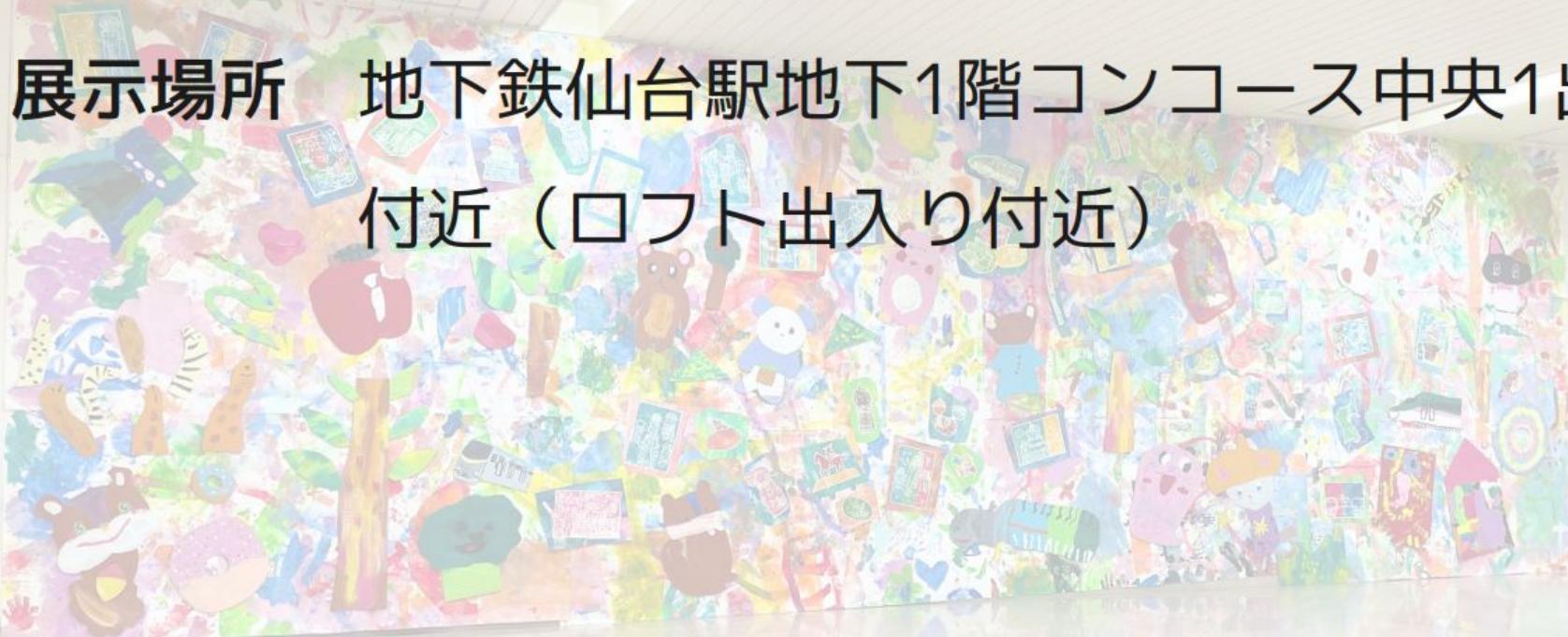
作品の展示



作品の展示

展示期間 2022年12月15日～2023年1月29日

展示場所 地下鉄仙台駅地下1階コンコース中央1出入り
付近（ロフト出入り付近）



展示作業



展示内容

制作の様子



各班について

作品の製作に使われているのは紙と絵の具(うわんぶつ)というシンプルな素材です。
これでもちろん手かるると、白い紙はかきといでて簡単に手軽へ渡り合っていきます。

ペースになっている人気の絵本、絵画の下見絵にて同じく楽しむ、筆やローラー、手足に絵の具をつけて床の上で遊ぶ子どもたちを見ると、歩くまる、顔を引く、おも顔などということ団体が楽しく、興味やティックで遊んでいますと改めて感じます。

北へいくハイタッチの会と絵本朗読会、私がいつも一緒に活動しているアートリエの様子を
(幼少期から先生) お届けです。毎月一回にハイタッチで描いたのは自分の好きな生き物
や動物、形を切り取ることで絵本にミスチカルな描き方をプラスしてくれました。絵本朗読は
吉田、私、おじいちゃんがテーマで読み、絵本を切り取った面をインクをつけていました。
作り方シルエットで、手の運び方を工夫したり色を考えて一枚一枚頑張れています。

他には日曜をちょっとだけ楽しんでくれる力があります。

日曜中に、開催した一日開催の会で、子どもたちの絵本からお気に入りを下さい。絵本が
あつたから自分で見ておひこり見てたり、おひこりの絵本と一緒に写真を撮って
ください。お絵かきやお隠れ、どんなふう見るのか見ててください。月曜とそれそれ
写真はイメージを出していたら大好きです。

今日は、AIのみなさまとご縁をいただき、非常に豊かな経験になりました。
元々、絵本に関するおもなアートプロジェクトでやってくれることを楽しんでいます。

最後の今日がちょっととISMになりますように。

はま もひる

制作にご協力いただいた皆さん

コースチャレンジ! カラボプロジェクト(石井尚・市民活動事業部監修)
企画: ユースチャレンジ! カラボプロジェクトとの連携で開催された
(当社)文部科学省主導による、石井市立図書館蔵庫課の皆さま、石井市デザインワークスの皆さま)

にサポートしていただきながら進められました。

- 2022年10月日に実施された中高生セミナーの空間設計で作品を作成してくれた皆様
- ご当地アートエアーフィールドくまの生徒さんたち
- オリジナルでつくったことを絵本表現する生徒さんたち
- ひらいさん(絵本作家)

・はまきりさん(美術家)

ひらい

実際の山林を題材にした絵本講座、絵本講師として活動中。

・はまきりさん(美術家)

子どもたちと作家に向かう絵本と一緒に聞くことができるくらいです。

はまきり

山梨県立大学美術科(絵画専攻)卒業(後退修)後、

絵本、絵画、イラスト、デザイン、ワークショップ、ライバーゲート、絵本創作などいろいろ活動。

また、山梨県立小中学校教諭、スクール講師、2010年~2019年と山梨で活動を展開。

2011年~2012年西日本アートリエで活動する子どもたちアートワークショップ講師。

2015年~2016年西日本アートリエで活動する子どもたちアートワークショップ講師。

2016年~2017年マザーリビングからまちをめぐらしつらわアートフェス講師。

2018年~2019年西日本アートリエで活動する子どもたちアートワークショップ講師。

下段 子どもアート

アートを通じて子どもたちの自己表現の機会をつくり、アート作品を飾ることに
よって児童の創造性がさらに高くなります。そして少しでも多くの人が
アートに触れることで、より豊かな心地よい気持ちで、日々の暮らしの豊かさを感じるよう願いながら私たちが
子どもたちと共に制作した作品の販売を行なってきました。

各路線のテーマは「登台のすきなところ」と「わたしのすきなもの」です。

開催は2022年12月16日~2023年1月29日の期間で行なっています。
ぜひお立ち寄りください。子どもたちが毎日、毎日制作した作品をゆっくりお楽しみください。

最後に、作品の制作に携わってくださったすべての方々へ、お礼を申し上げます。

2022年12月14日 学生会議会

学生会議会について

私たちが「大切な人の想い込めて贈るお土産」を販売して収益金を販売し、
収益金を元にした活動をします。販売収益金を販売するものに、メンバーひとりずつ販売手帳を持ち
各自の担当のやり方にこだわり続けています。

会員登録

「会員登録」とログインに認証用情報をどうぞ。
IDを忘れた場合はこちら

QRコード



効果測定

実施日時と足を止めてくださった人数

2023年1月21日（土）13時～15時、12人

2023年1月23日（月）13時～15時、2人

2023年1月26日（木）16時～18時、4人

2023年1月27日（金）15時～17時、6人

2023年1月28日（土）14時～16時、10人

→このうちの10名がアンケート回答者

効果測定

アンケート調査 用紙を配布する形式で実施

質問項目

Q1 アート作品を観ることは好きですか？

Q2 普段は何もないところにアート作品があったとき、あなたの心はどう変化しましたか？

Q3 アート作品を飾ることで、景観が良くなかったと思いますか？

Q4 あなたがもしポイ捨てをするとしたら、どんな場所に捨てますか？

Q5 その他、地下鉄駅構内などの町なかに日常的にアートを観て楽しめることについてどう思いますか？

Q6 仙台に具体的にどんなものがあったら、さらに居心地の良いまちになると思いますか？

効果測定

子どもたち→その時の気持ちを表す色のシールを
貼ってもらう



14人の子どもたちが参加

効果測定

出会った方々

子連れの方

高齢の方

高校生、大学生

作品を作った子どもたち

観光客

子供に関わる職業の方



アンケート結果（一部抜粋）

Q1 アート作品を観ることは好きですか？ (n=10) 回答数

- | | |
|------------|---|
| ①とても好き | 3 |
| ②少し好き | 6 |
| ④あまり好きではない | 1 |

Q2 普段は何もないところにアート作品があったとき、あなたの心はどう変化しましたか？ (n=10)

- | | |
|-----------|---|
| ④少し明るくなった | 5 |
| ⑤明るくなった | 5 |

Q3 アート作品を飾ることで、景観が良くなつたと思いますか？ (n=10)

- | | |
|---------|---|
| ①そう思う | 8 |
| ②少しそう思う | 1 |
| ⑤そう思わない | 1 |

効果測定による結果

- ・アンケート回答者は、作品に興味を持ち足を止めて下さった方にご協力いただいたので結果が一般的な市民の回答とは限らない
- ・回答者はアートが好きな方が多く、作品によって気持ちが明るくなつたと答えた方が多かった
- ・足を止めてくださる方の層は時間にゆとりのある方が多かった
→子どもたちや子育て世代

効果測定による結果

- ・通りすがりの方の声

「綺麗だね、かわいいね」

横目でちらりと見てくださる方も、、

- ・足を止めてくださった方の声

「らくがきよりもアートが増えてほしい」

「すごく明るい気分になる」

「駅内で変化もあって良いと思う」

感じたこと

アートには

人と人を繋ぐ力

心に安らぎを与える力

空間を明るくする力

言葉以外で自分を表現する力

道具さえあればその空間が様々な人にとっての居場所になり得る力

がある

今後の活動

- ・ イベントの継続

仙台市内でアートに関するイベントやワークショップを地域で開催

- ・ アートによる居場所

5月5日のこどもの日に仙台市内でアートに関するイベントを行うか、

アートによる子どもの居場所作り を開始

- ・ ホスピタルアート

はまちひろ先生と一緒に入院中の患者さんとアートを楽しむ活動を病院で行い、治療が目的とされる病院でアートを通して少しでも心安らぐ時間を作る

今後の課題

- ・イベント開催場所と展示場所の確保
- ・継続的に行っていくための資金の調達方法→HPによる協賛金の募集
- ・作品の利活用